

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
事業	① 指標名	高齢者、身体・知的障害者の施設定員に対する1日平均利用者数（デイサービス等利用者数）			目標値	100%以上	実績値	89.9%
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	89.9%	達成状況	未達成
	(単位: %)	88.2%	81.6%	89.5%				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 障害部門では、登録者全員が毎日通所することがないので、年度当初の時点で定員を超える登録を目標とする。そのために、特別支援学校との連携を強めるほか、保護者向けの説明会や利用実習などの体験を通じて、法人施設の魅力をアピールし利用を促すほか、グループホームや障害程度に応じた複数の施設を設置していることから、障害の程度に応じたステップアップも可能であることなど、各種施設を運営する法人のメリットをアピールしていく。高齢部門は、デイサービス部門での苦戦が続くが、ゆとりえデイサービスは周辺に他の高齢者施設が比較的小さいことなどから、更なる利用者の増加をはかる。ケアハウスは、ゆとりえに比較して近隣市を含む周辺に高齢者施設が多いことから稼働率の低迷が続くが、スタッフを入れ替え、地域と密着したサービス提供に努めていく。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 大地、ふれあい、すばる（自立訓練）の利用者増により最高値となったが、すばる（通所デイサービス）、桜堤ケアハウスデイサービスの利用者の長期欠席などにより利用率が低めで、目標を達成することが出来なかった。すばるは市との連携を深め利用者増へつなげていく。桜堤ケアハウスは、希望の多い入浴サービスの利用率を増やし、利用者獲得に努める。ゆとりえは、定員・プログラム内容等を見直す。						
二次評価	目標達成に向けた取組により達成率が向上していることは評価する。今後は、利用者のニーズに合わせたプログラム内容の見直し等により、利用者獲得に努めていただきたい。							
財務	② 指標名	介護保険・自立支援費等収入			目標値	1,000,000千円	実績値	969,420千円
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	96.9%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	846,727	894,489	939,782				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 利用空白期間を作らないよう、法人内の連携はもちろん他の関係機関との連携を密にし、新規利用者の利用開始時期を早める。 ② 法人の事業内容の広報を積極的に進める。そのため、ホームページや事業案内パンフレットの更新、特別支援学校の在校生、家族、教職員への施設案内を充実させる。 ③ 介護保険、自立支援等給付費ともに支払報酬が切り下げられているので、より効率的な運営を目指す。 ④ 入所施設の新設や放課後等デイサービスなど新たな事業展開について研究し、事業の拡大とともに効率的な運営を心掛ける。 ⑤ 専門職の確保に努め、利用者の満足度を高めると同時に、報酬の減算対象とならないようにする。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 介護保険及び自立支援等給付費ともに増加しており、合計で約3,000万円の増額となったが、印刷受注の減（けやき）、封入作業受注の減（福祉作業所）など収入減となった部門があったため、目標には届かなかった。H31年3月新施設開所による影響も踏まえ、収入の拡大とともに歳出の減も図り、法人トータルでの健全な財務運営を目指す。						
二次評価	目標は未達成であるが実績値が継続的に向上していることは評価する。新施設開所に伴う収支の影響に注視しながら、健全な財政運営に努めていただきたい。							
内部	③ 指標名	人件費率の縮小（正規職員の抑制及び臨時職員の待遇改善と効果的な人事給与制度の確立）			目標値	65%	実績値	68%
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	95.6%	達成状況	未達成
	(単位: %)	66%	67%	70%				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 法人設立から25年以上が経過し、設立当初に採用した職員の高齢化が進んでおり、人件費負担増の要因となっている。今後、ベテラン職員の定年退職が進み、中期的には人件費率の低下が予定されているが、入所施設への対応及び長期的な視点から職員採用を進める。 ② 職員研修の充実や外部講習会への参加など職員のスキルアップと意識改革をすすめ、サービスを向上させることによって利用者を増加させ、収入の増加に努める。 ③ 職員昇任試験の実施や研修体系の整備により、適切な福祉サービスの提供と経営の両立について、職員の意識改革を進める。 ④ 平成29年度中に正規職員の給与体系や諸手当、退職金などが適正水準にあるか否かの検討及び非常勤職員の雇用に関しての検討を行う。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 昇給を2号給に抑制し、賞与支給月数を据え置きなど圧縮に努めているが、非常勤が採用できず正職で補充せざるを得ず、目標を達成することができなかった。昇任試験・研修を実施し意識の向上に努めたが、給与制度の検討は見送った。新施設開所により更なる職員の採用が見込まれるほか、夜勤職員が増え深夜割増等が見込まれるため、今後も職員の適正配置、常勤・非常勤の効率的な活用については検討を進める。						
二次評価	目標は未達成であるが昇給の抑制等により昨年度よりも人件費率が縮小したことについては評価する。また、給与を抑制しつつ、福祉人材の確保につながる工夫もしていただきたい。							